



中体連陸上大会

中体連陸上大会が5月13日（月）～15日（水）の三日間で行われました。本校からは、28名の選手が出場し、それぞれの競技で頑張りました。大会前の選手壮行会では、次のような話をしました。

2023年の世界陸上で、やり投げ種目で日本女子初の金メダリストになった北口榛花選手は、「どうせなら、『新しい自分になって帰ってくる』という気持ちで大会に参加しました。」と言っています。『新しい自分になる』とは、どういうことでしょうか。大会に参加する皆さんも、どうしたら新しい自分になれるか、ぜひ考えてみてください。

大会を通して、「最後まで諦めない姿」、「一生懸命に応援する姿」、「緊張から逃げない姿」など、大変素晴らしい姿を見ることができました。こうした経験が、『新しい自分』につながったことと思います。一方、自分の思うように競技することができなかった人もいました。結果にこだわることは、もちろん大切なことですが、大会までの過程（練習してきたこと）が一番大切です。ぜひ、頑張った自分を褒めてほしいと思います。みんな大変よく頑張りました！



祝 結果報告

- ・ 共通女子200m「準決勝進出」【3年 牧野友香】
- ・ 共通女子砲丸投げ「8位」【1年 三宅羚央奈】



各種検定料について

重要

今年度も各自の希望により、各種検定を行います。検定については、下記の3種類ですが、その検定料については、町の補助（全額補助）が受けられます。補助については、下記のとおりですので、ご確認の上、積極的に受検していただければと思います。なお、不明な点は、学校の各担当へお問い合わせください。

【各種検定】

- ・ 英語検定
- ・ 漢字検定
- ・ 数学検定



【町の補助】

- ◎ それぞれの検定で、**1人1回**、補助を受けられます。（1回目は自費、2回目は補助、でもいいので、どこで補助を使いたいかを明確にしてください。）
- ※ 数学検定は、年1回の実施なので、自動的に補助となります。